

# 15 漢詩 漢詩に親しむ

組
番号
氏名

1 次の漢詩を読んで、問いに答えなさい。

桂林莊雜詠諸生に示す

広瀬淡窓

休道やメヨ いフヲ

他郷多苦辛レニシト

道ふを休めよ他郷苦辛多しと

同袍有友あリ自相親おのづから シム

柴扉ニ曉ツレバ出霜シ如雪ノ

柴扉曉さいひあかつきに出いづれば霜雪しもゆきの如ごとし

君ハ汲ニ川メ流ヲ一我ハ拾ハン薪ヲ

君は川流せんりうを汲くめ我われは薪たきぎを拾ひろわん

① この詩の形式を答えなさい。

七言絶句

② この詩で押韻おうえんしている漢字をすべて抜き出  
しなさい。

辛、親、薪

③ 第一句に用いられている表現技法を答えな  
さい。

倒置法

**注**この表現技法は、言葉の順番を入れ替えて、最も言いたいことを先に述べて強調する表現技法。

④ 第一句の書き下し文を通常の語順に並べ替えるかどうか。

他郷苦辛多しと道ふを休めよ

⑤ 同袍 友 自 相親 を書き下し文に直しなさい。

同袍友有り自ら相親しむ

⑥ 霜雪の如し とありますが、その意味として最も適切なものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 霜がまるで雪のように降りている。
- イ 雪がまるで霜のように積もっている。
- ウ 霜の上に雪が降り積もっている。
- エ 霜も雪もどちらも真っ白だ。

ア

⑦ この詩の「転句」を書き下し文で書きなさい。

柴扉曉に出づれば霜雪の如し

**注** 漢詩の構成については、二年「漢詩 漢詩の形式を知る」のステップ1参照。